

令和 3 年度（2021年度）

病院年報

市立ひらかた病院

Hirakata City Hospital

は じ め に

日頃より市立ひらかた病院の運営に多大なご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。

当院は、北河内二次医療圏における唯一の公立病院として、これまでから救急医療や災害時医療、感染症医療、小児・周産期医療などの政策的医療を担いつつ、急性期病院として幅広い疾患に対し、質の高い安全な医療を提供するため取り組んでまいりましたが、特に令和2年度は、前年度に発生した新型コロナウイルス感染症の対応に追われた1年となりました。

本院は第2種感染症指定医療機関として、感染患者の重症化を防ぐなど適切な医療を提供するため、感染拡大状況に応じて、適宜受入れ病床を拡大するなど多くの感染症患者の診療にあたったほか、発熱外来の設置や検査の拡充など、新たな脅威に対して職員一丸となって対応してまいりました。

一方で、感染症に注力するための一部病棟の閉鎖や、病床の逼迫による救急搬送の受入れ制限をせざるを得ない場合もありましたが、その際に地域の皆様のご理解とご協力に支えていただいたことについて、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

そうした中ではありますが、令和2年7月には「下肢機能再建センター」を新たに稼働しました。これは、股・膝・足などの関節再建手術を主軸とした診療を行うもので、令和元年度に稼働させた「消化器センター」とともに、専門的な医療提供のさらなる充実を図ってまいりたいと考えています。

令和3年3月には、「地域医療支援病院」の承認を大阪府知事から得ることができました。地域の医療機関との信頼関係の構築は、本院が最も重要視してきたもので、長年の目標を達成できたのは、皆様のご支援とお力添えの賜物であり、改めて感謝申し上げます。これからも、地域の医療機関の皆様と緊密な連携のもと、地域医療を支える病院としての責務が果たせるよう取り組んでまいります。

未だ新型コロナウイルス感染症については終息の目途が立たず、先行きを見通すことができない状況ではありますが、職員一丸となってこの難局を乗り越え、安全で安心な「心のかよう医療を行い、信頼される病院」として、市民の皆様に愛される病院であり続けるため、職員一同尽力してまいりますので今後ともご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

このたび、令和2年度における当院の状況をまとめましたので、ご高覧いただければ幸甚に存じます。

令和3年12月

枚方市病院事業管理者
宮 垣 純 一
市立ひらかた病院病院長
林 道 廣

「市立ひらかた病院の基本理念および基本方針」

【病院の基本理念】

『心のかよう医療を行い、信頼される病院』

本院は基本理念の基に、以下の方針等に則り、患者の皆様や地域との信頼関係を築き、安心と満足の得られる医療を提供することで、地域に貢献します。

【病院の基本方針】

1. 地域の中核病院として住民の命を守るため、質の高い安全な医療を提供します。
2. 患者の皆様の人権を尊重し、誠意をもって信頼される医療を提供します。
3. 他の医療機関や事業者との連携を進め、地域医療における公立病院としての役割を果たします。
4. 医療や健康に関する情報を積極的に発信し、住民の健康増進に貢献します。

【診療に臨む基本姿勢】

1. 患者の皆様の気持ちに寄り添い、あたたかく思いやりのある態度で診療を行います。
2. 患者の皆様が安心して医療を受けられるよう、納得のいく分かりやすい説明を行います。
3. 高度・先進医療に取り組み、医療ニーズに応じた適切な診療方針を立てます。
4. 医療技術と倫理観を磨き、チーム医療による安全管理を徹底します。
5. 地域の医療機関や保健・福祉関係者と連携して、通院・入院から在宅まで患者の皆様を支援します。

【病院の機能】

1. がん治療をはじめ、高度で低侵襲の医療技術を提供する病院
2. 北河内医療圏における小児医療の拠点病院
3. 2次救急指定医療機関として、急性期に対応する病院
4. 第2種感染症指定医療機関として、感染症に迅速かつ適切に対応する病院
5. 臨床研修指定病院として、優れた医療スタッフを指導・育成する病院
6. 大規模災害時に、災害医療の拠点となる枚方市災害医療センターの機能を発揮する病院
7. 地域医療支援病院として、他の医療機関との積極的な連携のもとで、地域医療に貢献する病院
8. 枚方市の保健・医療政策の実現や具体化に取り組む病院

(※ 令和3年12月1日改定)

目 次

病院の沿革

病院の沿革	1
-------------	---

病院の現況

1. 概 要	5
(1) 各科外来診療担当表	6
(2) 許可病床数	7
(3) 施設基準への適合・認定施設等	8
2. 機 構	9
3. 職員の状況	10
(1) 病院職員	10
(2) 職員構成	10
4. 各種委員会	11
5. 防災体制	13
(1) 自衛消防隊の編成及び任務	13
(2) 休日・夜間における自衛消防組織	14
(3) 市立ひらかた病院地震対策本部体制	14

各部門紹介

(1) 内分泌・糖尿病内科	17
(2) 循環器内科	20
(3) 呼吸器内科	22
(4) 神経内科	24
(5) リウマチ・膠原病内科	25
(6) 小児科	26
(7) 乳腺・内分泌外科	33
(8) 形成外科	35
(9) 心臓血管外科・呼吸器外科	37
(10) 脳神経外科	38
(11) 整形外科（下肢機能再建センター）	39
(12) 泌尿器科	41
(13) 産婦人科	44
(14) 眼科	46
(15) 耳鼻咽喉科	48
(16) 皮膚科	50
(17) 放射線科	54
(18) 歯科口腔外科	57
(19) 麻酔科	59
(20) 中央検査科/病理診断科	62
(21) リハビリテーション科	64
(22) 栄養管理科	66
(23) 救急科	68
(24) 健診センター	72
(25) 緩和ケア科	73
(26) 精神科	74

(27) 女性外来	75
(28) 消化器センター	76
(29) 薬剤部	83
(30) 看護局	85
(31) 医療相談・連携室	118
(32) 医療安全管理室	122
業務概要	
1. 患者状況	131
(1) 科別外来患者数	131
(2) 科別入院患者数	132
(3) 地域別外来入院患者数	133
(4) 科別・月別患者数	134
(5) 高齢者入院患者数	136
(6) 人間ドック利用状況	140
(7) 科別救急患者数	140
(8) 地域別救急患者数	140
(9) 初診再診患者数	141
2. 診療収入状況	142
(1) 科別外来収益	142
(2) 科別入院収益	143
(3) 外来科別診療行為別収益	144
(4) 入院科別診療行為別収益	146
3. 各種業務状況	148
(1) 調剤及び処方業務状況	148
(2) リハビリテーション業務状況	149
(3) 放射線業務状況	150
(4) 内視鏡件数（内視鏡室）	151
(5) 手術件数（手術室）	151
(6) 給食数	152
(7) 分娩件数	152
(8) 医療相談件数	152
4. 経理状況	154
(1) 収益的収入及び支出	154
(2) 資本的収入及び支出	154
(3) 貸借対照表	155
(4) 経営・財務分析	156
(5) 備品購入主要品目	158
論文・学会発表	
1. 論文発表等	159
2. 学会・研究会・講演会報告等	161

【注】本年報は、特に表記がない限り、期間は令和2年4月1日から令和3年3月31日まで、
現在日は令和3年3月31日現在の値とする。
ただし、「各部門紹介」に掲げるスタッフは、令和3年10月末現在のものである。